



りす組 これがキュウリか～！

春から栽培しているりす組のキュウリ。お外に行くと、葉っぱを触ってみたり、お花が咲いていることを見つけて教えてくれたり、まだまだ小さな赤ちゃんキュウリができると「赤ちゃん！ちっちゃい！」と喜んだり、興味を持って色々な発見をしている子どもたち。先日、キュウリが大きく成長したので、みんなで収穫してみることにしました♪楽しい反応がたくさん見られましたよ～！

こんなにまじまじとキュウリを生で見たのは初めてなのかな？
「見て～！キュウリがこんなに大きくなったの！」とみんなで観察すると、「なんだこれは！？」と言わんばかりに目をまん丸くして驚く子、「おー！おっきい！」と感激する子、触ってみようと手を伸ばす子、子どもたちの興味の高まりがとっても感じられました☆



葉っぱもおっきい！
自分の手と大きさを比べてみていました



キュウリってこんな感じなんだ～！

なに！？この緑で長い物！



ほくは触りたくないよ～！ちくちく嫌！



なんかちくちくする！！
ぼこっと出ているつぶは何？と思いき、触りたくなつたようです

←さっそく翌日、子どもたちの前でキュウリを切ってみました。断面を見せると「丸！」「緑だ！」と答えるりす組さん。形や色にも繋げて考えているのだと感心しました。触ると昨日とは違う感触に不思議そうな様子。「昨日はちくちくだったけど、これはつるつるだね！」と言うと、昨日は触れなかった子ども触って感触を確かめていました♪

美味しい！おかわり！

予想以上にパクパク食べる子どもたち。普段は野菜が苦手な子がおかわりする姿にはびっくり！



野菜は苦手だけど、ちゅっぴり食べてみようかな…



これまで絵本等でキュウリやトマトなどの野菜は触れてきましたが、今回こうして実際に目で見て、触って、においをかんで、味わってみる、噛む音を感じる

という五感を使った体験をしたことで、子どもたちもより野菜に興味や関心が高まったのではないかと思います。それによって、この食材は何だろう？どんな味、どんなにおいがするんだろう？食べてみよう！という食事への意欲にも繋がっていきます。自然と触れ合う体験って、とても子どもたちの感性